

【平成23年度太田市立商業高等学校同窓会臨時総会資料】

太田市立商業高等学校の中高一貫教育校への改変について

太田市立商業高等学校校長 天田比呂志

1 中高一貫教育とは ウィキペディアを参考にしました

① ねらい

前期中等教育（一般の中学校で行なわれている教育）と後期中等教育（一般の高等学校で行なわれている教育）の課程を調整し、無駄をはぶいて一貫性を持たせた体系的な教育方式のことである。

② 形式

同一学校型（中等教育学校） 県内：中央中等・四つ葉学園

中学校の課程と高等学校の課程を統合した一体の学校で、中学校に相当する前期課程と高等学校に相当する後期課程がある。

前期課程を修了すると中学校を卒業したのと同じ資格を持つ。

通常後期課程の募集は行わない。

全48校。国立4校。公立28校。私立16校。

併設型（中学校・高校） 県内：共愛・桐生大学・樹徳・新島学園・白根開善
同じ設置者（都道府県・市町村など）が中学校と高等学校を設置して接続する。

中学校から高等学校へは無選抜で進学することが出来る。

高等学校は外部からの募集も行う場合もある。

全273組。国立1組[1]。公立69組。私立203組。

連携型（中学校・高校） 県内：尾瀬・万場・孀恋

設置者が異なる中学校と高等学校が連携して教育を行う。

中学校の教師と高校の教師とがチームティーチングを行ったり、教育課程を接続したりする。

連携中学校から高校へは簡便な試験で選抜する。また高校は、一般の試験で、他の中学校出身者を受け入れる。

全177組。国立2組[2]。公立174組。私立1組。

2 本校の中高一貫教育の進め方について

① 設置の経緯

平成21年11月「太田市立商業高等学校改革・改善検討委員会」答申 これに

ア) 情報科の廃止と普通科の設置

イ) 中高一貫教育を視野に入れた改革

ウ) 校名の変更など が盛り込まれた

平成22年4月「中高一貫教育推進準備室」開設

② 現状

平成23年4月太田市立太田中学校開設

平成24年4月太田市立太田中学校1期生入学

3 中高一貫教育で変わるものと変わらないこと

- ① 校 名：平成27年4月1日から「太田市立太田高等学校」へ
→平成25年度・26年度入学生は、太田市立商業高等学校に入学し
「太田市立太田高等学校」の卒業生として卒業
- ② 校 歌：平成27年4月1日から「ああ太田商高」の箇所を「ああ市立太田」
へ変更 草野心平氏の遺族に御了解をいただいています
- ③ 制 服：平成27年度入学生から変更します。
学年進行で移行を行いながら平成29年度に変更完了
- ④ 学 科：平成24年度入学生「商業科5クラス」「情報科2クラス」280名
《高校定員 840名》《中学校定員 105名》 945名
平成25年度入学生「商業科5クラス」 200名
《高校定員 760名》《中学校定員 210名》 970名
平成26年度入学生「商業科5クラス」 200名
平成26年度末で情報科の生徒がすべて卒業
《高校定員 680名》《中学校定員 315名》 995名
平成27年度入学生「商業科4クラス」「普通科3クラス」280名
《高校定員 680名》《中学校定員 315名》 995名
平成28年度入学生「商業科4クラス」「普通科3クラス」280名
《高校定員 760名》《中学校定員 315名》 1,075名
平成29年度入学生「商業科4クラス」「普通科3クラス」280名
《高校定員 840名》《中学校定員 315名》 1,155名
- ⑤ 校 舎：中学校棟を平成24年度に別途建設予定。ただし、多くの施設を共用し
ます
- ⑥ 校 章：変更しません